

決断の折口学

経営は決断の連続です。特にコロナ禍かにあつて、経営者は不確実で流動性の高い中で間を置かず、決断をしなければなりません。企業の未来における「あるべき姿」を描き、進むべき方向を定める上で最も重要なのが「哲学」です。重大な局面で一つの決断を下した経営者それぞれの哲学を聞きました。

取材・文 山口雅之(CASE 1~3)

CASE 01

危機の哲学

株式会社スーパーホテル
取締役会長 山本梁介



CASE 02

挑戦の哲学

中央建設株式会社
代表取締役 渡部功治



CASE 03

新事業の哲学

株式会社ボーダレス・ジャパン
代表取締役社長 田口一成

